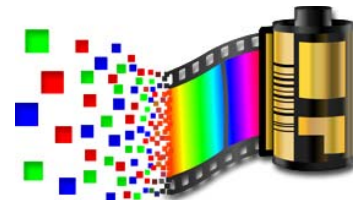


2006年 12月 4日

デジタル フォトグラフィーで銀塩フィルムの画像感を忠実に再現

Dx0 FilmPack のご紹介



銀塩粒子の追求

このようなプロセスは、厳密な科学的手順にしたがう必要があります。最も正確な素材データを得るため、Dx0 Labs エンジニアリング チームは較正されたテストチャートと実際の被写体（静物、色・テクスチャの異なる様々な物体など）の銀塩写真を用意しました。※ これらの写真は、正確かつ厳密にコントロールされたライティング条件下で撮影。

権威あるラボ

次に、ネガおよびトランスペアレンシーの現像段階において、不要な変動要素が結果に影響しないことを確認する必要がありました。そのため、高い評価を受けているプロフェッショナル ラボ 2 社に協力を依頼しました。

各フィルムは、Picto（パリ）と Duggal（ニューヨーク）の 2 箇所のプロフェッショナル ラボにて現像されました。しかし Kodachrome[®] フィルムの現像だけは、現在このフィルムを処理可能な唯一のラボである Kodak[®] の自社プロフェッショナル ラボにて実施されました。

フィルム現像後のキャリブレーションには、カラーキャナによる慎重なデジタル化処理が必要でした。次に以下の 2 つのアクションが実行されました。まず、すべてのスキャンから得た比色測定に基づくカラーレンダリングのキャリブレーションを行い、次に粒子の測定が行われました。

革新的なメソッド

従来のフィルム フォトグラフィーの粒子を再現するソフトウェア ソリューションは、ガウシアン ノイズを人工的に生成することで粒子をシミュレートする手法を採ってきました。しかし、このような経験的アプローチでは、一定以上の精度の結果を得ることは困難でした。

一方、Dx0 Labs によるアプローチでは、テスト画像から直接「粒子マトリクス」を得て、デジタル画像に対して適用します。各フィルムに対してキャリブレーションモデルは平均化されているため、デジタル画像に対し限りなくリアルに適用することが可能です。

このプロセス全体の完了後、処理結果の実証が行われました。それぞれの「画像感」は、Dx0 Labs のイメージング エキスパートおよび多数のプロフェッショナル フォトグラファーらによって検証されています。

これらプロの方たちは、Dx0 Optics Pro に組み込まれたモジュールとして機能する FilmPack インターフェースの設計にも参加しています。非常に高度なツールであっても、初心者にも使いこなせる簡単な操作性と、上級者がエフェクトを自由に調整できる豊富な機能性を有する必要があります。したがって、FilmPack インターフェースでは、フィルムの種類を直接選択することで、画像感をすばやく簡単にデジタル画像に対して適用することができます。さらに、カラーレンダリングと粒子プロファイルを設定するための、包括的なオプション群も備えています。

最後の仕上げ

この方法により、あるフィルムのカラーレンダリングと別のフィルムの粒状感を組み合わせるなど、独自のスタイルを得ることができるほか、粒子の可視性や粗さを調整することも可能になっています。これらのプリセットは、35mm、6x6 および大判フォーマットでの粒子の再現を提供します。

もちろん、すべての Dx0 Optics Pro 調整モジュールを使って FilmPack による効果を調整することが可能です。たとえばカラーネガティブ フィルムの場合、これはユーザーが自分流の「カラー印画」をライティングおよびホワイトバランス パレットのスライダーを使って確定するというようなことになります。

最後に、FilmPack が提供する 2 種類の非常に特殊な「クロス処理」について簡単にご説明します。これらは、リバーサル フィルム（この場合は Kodak・Elite 100）をネガティブ フィルムとして処理、もしくはネガティブ フィルム（Fuji Superior・200）をリバーサル フィルムとして処理する現像テクニックです。このようなテクニックを使って得られる結果は、フィルム フォトグラフィー時代のクリエイティブなアイデアからヒントを得た、非常に独創的な作品へのインスピレーションをもたらします。

Dx0 Labs社は、静止画像およびビデオイメージの映像処理用ソフトウェアや内蔵チップの開発と、それらの製品のIP（知的財産権）ライセンス供与を行っている会社です。Dx0 Labs社は応用数学分野において広範囲な研究に注力しており、デジタルイメージング処理における高いノウハウを獲得しています。この技術力により、Dx0 Labs社は、デジタル画質補正処理システムにおける、信頼性の高い、最新テクノロジーを提供しています。

Dx0 Labs社製品は高性能であるだけでなく、システムコストパフォーマンスも非常に高いものとなっています。これによりDx0 Optics社のテクノロジーは、プロフェッショナル向けのイメージングシステムのみならず、コンシューマ向けシステムにおいても幅広く活用されています。Dx0 Labs社の主要カスタマーおよびパートナー：

- デジタルカメラ、カメラ付き携帯電話、およびノートパソコンなどのコンシューマ向け機器製造メーカー
- カメラ モジュール、センサ、およびプロセッサなどのイメージング コンポーネント製造メーカー
- フォトジャーナリスト、イメージング エキスパート、プロカメラマンなど

Dx0 Labs社は「Dx0 イメージサイエンス (Image Science by Dx0)」ブランドを、高画質の代名詞として確立し、イメージングビジネスにおけるコンシューマ及びトップメーカーの新しい世界標準とすることを目標にしています。

詳細については www.dxo.com をご覧ください。

プレスリリースに関するお問い合わせ先

Deborah Gallin
Dx0 Labs
France
+ 33 1 55 20 55 99
pressrelations@dxo.com

Steve Rosenbaum / Leigh Nofi
SIR Marketing Communications, Inc.
USA
+ 631-757-5665
sir@sironline.com

Dx0 Labs, S.A. 3, rue Nationale 92100 Boulogne France

Dx0 は Dx0 Lab の登録商標です。その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。Dx0 Labs は、自社のものを除いて、商標および登録商標の所有権を放棄します。

